

## 令和6年度 英語学習実施状況について

金沢市立四十万小学校

## ①小学6年生 英語学習についてのアンケート(令和7年1月実施)

(%)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語の勉強が好きだ。	20.0	35.0	35.0	11.0	0.0
問2	英語の勉強は大切だ。	68.0	24.0	5.0	3.0	0.0
問3	ショートタイムの時間は英語の勉強に役立っている。	21.0	41.0	30.0	8.0	0.0
問4	英語の授業の内容が分かる。	41.0	39.0	9.0	11.0	0.0
問5	先生や友達に英語で質問することができる。	17.0	39.0	29.0	15.0	0.0
問6	先生や友達の英語の質問に英語で答えることができる。	17.0	36.0	30.0	17.0	0.0
問7	アルファベットの大文字が書ける。	73.0	20.0	6.0	2.0	0.0
問8	アルファベットの小文字が書ける。	74.0	17.0	8.0	2.0	0.0
問9	教科書やピクチャーディクショナリーの単語や英文を書き写すことができる。	55.0	32.0	8.0	6.0	0.0
問10	教科書の単語や英文を読むことができる。	21.0	45.0	27.0	6.0	0.0

## ②指導改善の具体策

- ・ 英語が実際必要となる場合 今年度も設け 子どもたちが人と関わることの楽しさや 学習の成果を実感できるようにする。
- ・ 子どもたちが意欲的に取り組める学習のゴールを設定する。
- ・ 子どもたちが英語を活用することに自信がもてるよう、習熟をめざしIT機器の活用を工夫する。
- ・ 校内放送など、英語を用いた自己表現の場を設け全校で英語に親しめるようにする。

## ③学校関係者評価

- ・ 今日どのような学習をするのか、ゴールを確認することは英語が苦手な児童も安心して授業を受けることができると思う。内容を工夫して、児童に自信を持たせたり児童を楽しませたりすることを継続してほしい。
- ・ 「英語は大切だ」と回答する児童が多いが、具体的に「将来、受験をする際必要になる」等、大きなゴールのイメージを持たせることも大切だと思う。
- ・ 学校のマスコットキャラクター「しじまん」を活かして、学校の中や通学路など身近な場所に英単語や英語の挨拶などを掲示すると、児童がさらに英語に親しみをもつようになる。
- ・ 英語以外の教科についても定期的に児童アンケートをとり、授業改善に活かすとよい。